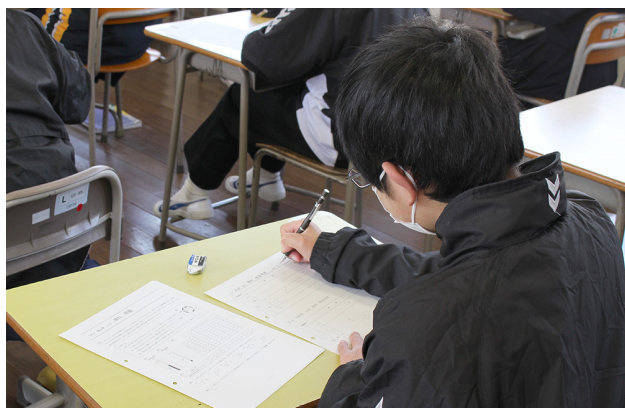




「自立した学び」の土台づくり ～本時の定着に高校入試過去問、自主学習にドリルを活用～

4小1中により作り上げた『15歳の大和っ子像』を最上位目標に掲げ、学校運営を行っています。今回は、高校入試過去問と10分間の自主学習でeライブラリを活用している実践をご紹介します。

■ 本時の定着に向けて、高校入試過去問にチャレンジ



▲ 学習内容の定着に高校入試過去問に取り組む

取れるように頑張らしましょう」と励ましの声かけられ、一斉に開始されました。生徒は、真剣に最後まで諦めずに取り組んでいました。

理科 2年：地球の大気と天気の変化

めあて 日本の四季の特徴を考えよう。

この日の授業は、春の天気の変化を学習したあと、既習事項の定着を目指し、eライブラリの高校入試過去問から関連する問題に取り組みました。筆記用具を準備して静かに待っている様子は、入試本番さながらです。問題と解答用紙が配られると、岡屋先生から「解き終わっても、しっかり見直して満点が

授業の流れ



冬の天気の特徴を友達同士で考えた後、動画で確かめる。



先生が春と梅雨の天気の特徴を解説し、生徒はノートにまとめる。



「天気の変化」に関する高校入試過去問で定着を図る。

富山県

宮崎県

▲ 令和4年度の高校入試過去問
「天気の変化」に関する大問を2題出題

■ 理解が深まる、考えが広がる、友達同士の学び合い



▲ 友達同士で考え方を学び合う

問題が解き終わると、全員で答え合わせです。「間違えた人は、なぜ間違えたかを考えてみましょう。解説は次の授業でします」と岡屋先生。先に解説をせず、友達同士で考える時間を設けることで、理解を深め、さまざまな視点から考えを広げることにもねらいのひとつです。

難しい問題は、正解した生徒が中心になって解説したり、友達同士で考え方を伝え合ったり、主体的に取り組む姿が多く見られました。

■ 生徒が主体！学び方を選べる自主学习



▲ 学習範囲は自分で決める

帰りの会が始まる前の10分間に自主学习の時間を設けており、eライブラリのドリルを活用しています。自主学习の時間が近づくと、全員がタブレットを準備します。「自主学习の内容は、生徒が自分で決めるようにしています」と岡屋先生。

その日の目標や学習範囲を事前に決めることが習慣化されており、チャイムが鳴ったと同時に各自が自分のペースで学習を始めます。

■ 自分に合った学習内容が「自立した学び」の土台になる



▲ 自分の難易度に合ったドリルに取り組む

生徒ごとに学習内容はさまざまです。発展的な内容を学習する生徒は、要点がまとまっている解説教材を読み、挑戦問題に取り組んでいきます。また、「おすすめ学習」から「苦手をなくそう!」を選択して、苦手を克服しようと取り組んでいる生徒もいました。eライブラリは、自分の強みや弱みを自覚することができます。強みはさらに伸ばし、弱みを克服していこうとする姿勢が「自立した学び」の土台になっているとのことです。

インタビュー 「15歳の大和っ子像」を目指して ～自分が好き 人が好き 大和が大好きな子ども～



校長
河本 政之 先生

本校では、「大和を愛し、未来にはばたく大和っ子」をベースに、「子どもを前に」「子どもが育つ」をキーワードに教育活動を展開しています。生徒が自信をもって前に立つには、「愛情と承認」が大切と考えており、すべての教員が愛情を注いで、生徒の成長を見守っています。

学校の取り組みとして、**朝学習は読書で活字に触れ、帰りの会の前の自主学习はeライブラリのドリルで学習する活動を2年間続けてきました。アナログとデジタルの学習を使い分けることで、生徒は思考を切り替え、学校生活のリズムにもメリハリがつき、自ら進んで行動するようになってきた**と感じています。

これからも、多様な学びを生徒に提供できるように、ICTを学びの手法の一つとしてバランスよく活用し、自ら判断・選択して活用できる環境を作っていきたいと思います。

高校入試過去問を使った学習と10分間の基礎学力定着の時間

10分間の自主学习は、予習や既習範囲の復習など、学習内容を生徒自身が決めて取り組んでいます。同じ10分間でも習熟度によって、取り組める難易度や問題数はさまざまなので、**学習する学年や難易度を自分で選べるeライブラリは、自主学习に最適な教材です。**

また、授業では高校入試過去問を活用しています。高校入試過去問データベースは、単元名に沿って関連している過去問を効率よく検索できるので、2, 3年の単元の終わりでよく利用しています。**年度ごとに他県の問題を組み合わせることで、出題方法の異なる問題に触れさせることができ、生徒からも「他県の問題が解けて良かった」という感想もありました。**



教諭
岡屋 哲 先生